

第2回 幼保小合同研修会だより

日時 令和6年6月11日(火) 午後3時～午後4時40分

場所 ニコニコこども館5階 ふれあい学級 (オンラインとのハイブリッド研修)

教育講演「特別支援を要する子どもの理解」
～気になる子どもと保護者の関わり方～

講師：ぽかぽか発達
今泉 祥子 氏



講師の今泉祥子先生は、公立中学校、県立特別支援学校の教員として、長年にわたり勤務されました。また、福島県特別支援教育センター指導主事や郡山市教育委員会特別支援教育専任指導主事を歴任され、県内の特別支援教育に携わってこられました。現在は(株)薫化舎ふくしま 代表取締役社長の他、「ぽかぽか発達」を開設し、これまでの経験を活かして、保護者やご家族の子育てを支援しております。今回は、特別な支援を必要とする子どもたちへの理解について、どのような点に留意し支援をしていけばよいのか、先生の豊富な経験や発達の視点等からお話をいただきました。※参加者→幼稚園・保育所(園)・認定こども園・

小学校関係者等 102名(内オンライン研修87名)



【講演の主な内容】

- 学校ってどんな所?
- 発達を脳科学で考える!
- 具体的支援と指導

これからの共生社会

- ・特性を才能とみるか?障がいとみるか?⇒周囲の見方・考え方で変わるもの
大事にしたいことは「発達の視点」で子どもたちを、見ること
- ・全員自立を目指し、自分の特性を理解して、得意を伸ばし、不得意について主体的に改善・克服に努め、対処方法をマスターする。

保護者の不安や不満への対応

- ・①支援チームで緊急に対応する。②不安や不満を減らす取組(受容・傾聴・共感)③正確で客観的な事実に基づいた説明
- ・子どもが保育所や園での生活に存分に取り組んでいる姿や、子どもの成長を保護者に実感してもらうこと。成長を喜び合うこと。



【アンケートから～参加者の声～】

- 子どもの問題行動について、根拠を示してくださったので、とても分かりやすかったです。ポジティブな先生のお人柄で、日々の保育で悩んでいることも「まあ、いいか」と、肩の力を抜くことが出来ました。研修に参加して、とても良かったです。ありがとうございました。
- 発達障害を疑う前に、身体の異常(呼吸・栄養・運動)を確認することで、脳の動きがよくなる…まさに、目からうろこです。これから、子どもたちの身体の状態を確認します。